



Yonago East Weekly

「自分にチャレンジ！自分に奉仕！そして、ロータリーを楽しもう！」

- 創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 Tel (0859) 32 - 5531
- 例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 Tel (0859) 33-0911
- 会長/小谷維夫 ●幹事/永島清孝 ●会報/足立博俊

会員数87名

今週のお祝い

本人誕生祝:

- 1日 遠藤智美君 5日 細田耕治君、杉本真吾君 6日 内田幸男君 14日 楠明彦君 24日上森英史君

会長挨拶

いつも会長挨拶はロータリーのことを話していましたが、今日は本のことを話そうと思います。最近ずっと本を読んでいまして、眠る前に寝ころんで1時間くらいですけど、その中の一冊に「うん、これだ」と思い飛び起きた本です。

宮本武蔵の『五輪の書』、【太刀の持ちやうという事】を読んで、これだ！と感じた。重い剣を自由自在に操るにはどうすればよいか、ということなのだが、“太刀の持ち方は、親指と人差し指を浮かすような心持で持ち、中指はしめず、ゆるめず、薬指と小指をしめる気持ちで持つのである。”“手の締め方に緩みがあるのは良くない。敵を斬ることを念頭において太刀を持たなければならない。”とある。後の行でも、“ガチガチに持つのは死ぬる手なり、やわらかく持つのが生きる手なり。”と述べている。これだと思い飛び起きて車庫に行き、実際にゴルフのグリップで試してみると、肘から先の力が抜けて非常に良い。

他にも【太刀の道の事】【剣を踏むと云事】【執着心を捨てる事】など、執着心を捨てるとは、沢庵和尚の解説に「心を取られまいぞ」とある、相手の動きに心を取られると一瞬の間ができる。では、どこに心を置くのか、広くまんべんなく置きなさいとある。

『五輪の書』の最後に【兵法三十五ヶ条】がのっているが、色んな事に対峙するときの心構えが【剣の道】ということと語ってある。困難に立ち向かうときに、その心を学べば十分に役に立つのではないかと思います。皆さんも一度、昔の達人の書いた本を読んでみてはいいかかでしょうか。

幹事報告

1. 本日 職場訪問 山陰労災病院「ミニ人間ドック」受診
2. 5/22新旧引継ぎクラブ協議会 18:30~サンルート
3. 7/7第1回IA地区委員会及び委員長会議のご案内 (津山国際ホテル)
4. 「やまだの作文」第41集拝受 (RI第2520地区より)
5. 例会変更のお知らせ
倉吉RC 5/28(火)会場変更 ビジター受付あり

次回プログラム

- 5/22 (仮)「アメリカ留学報告」
青少年交換派遣学生 大塚美月さん
- 5/29 「
」
航空自衛隊 美保基地
美保基地司令 第3輸送航空隊司令
1等空佐 野中 盛 氏

今後の予定

- 6/ 5 新年度クラブ協議会 18:30~
- 6/ 9 中海一斉清掃 8:30~
- 6/12 新入会員歓迎会 19:00~
(芭蕉庵 駅前店)
- 6/26 夜間例会 (ホテルサンルート米子)



Peace Through service

奉仕を通じて平和を

< プログラム >

職場訪問 山陰労災病院 「ミニ人間ドック」受診



神戸先生による 健康講話 「多死社会の到来について」

